

# 救急要請ガイドブック (高齢者施設編)



**京都市消防局**

KYOTO CITY FIRE DEPARTMENT



# 目次

<b>はじめに</b>	・・・・・・・・・・ 2 ページ
<b>1 救急事故を防止しましょう</b>	・・・・・・・・・・ 4 ページ
・ 感染防止対策	
・ 転倒防止	
・ 誤嚥・窒息防止	
・ 熱中症対策	
・ ヒートショック対策	
<b>2 緊急事態に備えましょう</b>	・・・・・・・・・・ 6 ページ
・ かかりつけ医、協力医療機関との連携、連絡体制の構築	
・ 生活状況や医療情報の記録、「緊急時情報シート」の作成	
・ 応急手当の習得	
<b>3 救急要請のポイント</b>	・・・・・・・・・・ 11 ページ
・ 初動のポイント（必ずしていただきたいこと）	
・ その他の実施事項（できればしていただきたいこと）	
・ 救急隊が到着したら	
<b>4 資料編</b>	・・・・・・・・・・ 14 ページ
・ 心肺蘇生法の解説（新型コロナウイルス感染症対応版）	
・ ためらわず救急車を呼んでいただきたい症状（高齢者編・成人編）	
・ 「救急安心センターきょうと（#7119）」について	
・ 全国版救急受診アプリ「Q助」について	
・ 京都健康医療よろずネットの御案内	
・ 民間患者等搬送事業者の御案内	
・ 緊急時情報シート（様式）	京都市消防局 公式キャラクター 二条 葵（にじょう あおい）



## はじめに

京都市の救急出動件数は、近年増加の一途をたどっており、10年前と比べて約1.3倍になっています（2019年中）。今後もこの増加傾向は続くと予想されており、救急車の現場到着時間が遅れることや、傷病者の方を医療機関に収容するまでの時間が遅れることが懸念されています。

救急事故の内容を検証すると、高齢化の進展に伴って65歳以上の高齢者の救急搬送が増えており、また、高齢者福祉施設等（以下「高齢者施設」といいます。）からの救急要請も増加していることが分かりました。

高齢者施設からの救急要請は、施設利用者さんの急病や、施設内での転倒等の突発的な事故に起因したものが主ですが、中には、「もう少し注意していれば防げたかもしれない」「事前に対策しておけば防げたかもしれない」と思われる事例も数多く発生しています。

この「救急要請ガイドブック（高齢者施設編）」は、施設内で実践できる、病気やけがを予防するためのポイントと、救急事故発生時の対応を円滑に行うために準備や実行をお願いしたい事項を知っていただくために作成しました。

職員の皆さんが事前にこのガイドブックの内容を確認し、いざというときに自信を持って対応できるよう備えを万全にさせていただき、施設利用者さんが安心して末永く元気で暮らせるように御活用いただくことを願っております。

京都市消防局では、いざというときの応急手当を学んでいただく各種救命講習会を定期的で開催しているほか、消防局ホームページやFacebook・X(旧ツイッター)を活用して、防火・防災・救急に関する情報を市民の皆さんへ提供しています。

また、救急車を要請するかどうか迷ったときの判断を支援するためのツールとして、2020年10月から救急の電話相談事業「救急安心センターきょうと（#7119）」の運用を開始します。巻末にはこれらの取組を紹介する資料を掲載していますので、是非合わせて御活用ください。

2020年9月

京都市消防局 警防部救急課

（2023年8月更新）

# 1 救急事故を予防しましょう

## 感染予防策

新型コロナウイルス感染症対策はもちろんのこと、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症が発生・拡大しないように、職員の皆さんだけでなく入所者全員の手洗い、手指消毒、必要に応じたマスクの着用を徹底してください。

また、感染症流行期には、家族等の来訪者の手指消毒、マスク着用の徹底、場合によっては施設への立ち入りを制限する等の対応が必要となる場合があります。

感染防止対策には、感染経路（接触、飛沫、空気など）別の対策や、嘔吐物等の汚染物質の正しい処理方法などの正しい知識を身に着けることが重要です。

（参考）「高齢者介護施設における感染対策マニュアル改訂版」（厚生労働省）

URL：<https://www.mhlw.go.jp/content/000500646.pdf>



## 転倒防止

高齢者の方は、普段生活している場所でも、小さな段差でつまずいてしまい、骨折を伴うような事故となってしまう場合があります。施設内の段差や滑りやすい場所などの危険箇所に注意するとともに、整理整頓を心掛けるようにしてください。

足元がよく見えるよう、廊下や部屋の明るさにも注意してください。

また、床が濡れた場所では滑って転倒してしまうことがあります。飲み物などがこぼれてしまった場合には、できる限りすぐに拭き取るように心掛けてください。



## 誤嚥、窒息予防

脳梗塞や神経疾患のある高齢者は、嚥下運動が阻害され、飲み込みにくくなっていることや、咳をしづらくなっていることもあり、誤嚥や窒息が生じやすくなっています。



ゼリー、餅、大きな肉はもちろん、寿司やパンなどでも窒息事故が起きています。食べ物は小さく切って食べやすい大きさにし、ゆっくりと食事に集中できるような環境作りや、職員さんが食事の様子を適宜見るようにしてください。

もしも、食事中にむせるなどの症状があった場合は、食後の容態変化にも十分注意しましょう。

## 熱中症対策

高齢者は、体温調整機能が低下していることが多く、マスクの着用でのどの渇きを感じづらくなっている場合もあります。

頻回の排泄などで、お世話をする方に迷惑を掛けたくないという思いから、水分摂取を控える利用者さんもおられます。我慢をさせることなく適切に水分補給等を行ってください。

また、暑いときは、必要に応じてエアコンや扇風機などを利用することで、熱中症を防ぐことが可能です。体調不良の訴えがある場合は特に注意するようにしてください。



## ヒートショック対策

冬季は、室内外の温度差が著しくなることが原因で、救急事故が増える傾向があります。急激な温度変化は、血圧を大きく変動させ、様々な健康被害を引き起こします。心筋梗塞、脳卒中、失神による転倒、溺水などの原因となることもあります。



居室だけではなく、風呂場や脱衣所、トイレ、廊下などの温度にも注意し、急激な温度変化が起きない環境作りに努めましょう。

## 2 緊急事態に備えましょう

### かかりつけ医、協力病院との連携、連絡体制の構築

症状が悪化する前に受診することが大切です。体調の変化に気付き、異常を感じた場合には、早めに医療機関を受診できるよう、普段から、かかりつけ医や協力病院との連携を密にし、容態が変化したときに、相談や受診ができる体制を作っておきましょう。

緊急と判断した場合は、迷わずに119番に通報し、救急車を要請してください。緊急かどうかの判断は、かかりつけ医や協力病院に相談するほか、全国版救急受診アプリ「Q助」、総務省消防庁発行「救急車利用リーフレット」、2020年10月1日以降は救急の電話相談事業「救急安心センターきょうと（#7119）」も活用することができます。

また、緊急性のない場合は、施設等の送迎用車両や、タクシー、民間患者等搬送事業者などの利用をお願いします。

詳しくは「4 資料編」の各資料を参照してください。

### 生活状況や医療情報の記録、「緊急時情報シート」の作成

利用者さんの普段の様子を一番よく御存じなのは施設職員の皆さんです。医療機関での治療に必要な服薬、持病等の情報や、普段の歩行や食事等の状況、介助、介護の要否等の情報はもちろんですが、直近数日の体調や、食事の様子についても、治療を行う上で重要な情報となることがあります。受診する医療機関に速やかに情報提供ができるよう、普段からの記録と情報の整理が重要です。

また、119番通報をされる場合に、到着した救急隊員にスムーズに情報提供いただけるよう、事前に「緊急時情報シート」の作成をお願いします。

緊急時情報シート	
作成日：令和 年 月 日	
1	氏名（フリガナ）
2	性別 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
3	生年月日 年 月 日生
4	住所
5	現在治療中の疾患 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 【疾患名】
6	既往疾患 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 【疾患名】
7	アレルギー <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 【内容】
8	服用薬 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 【内容】
9	かかりつけ医 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 病院名： 医師名： 連絡先：
10	その他

施設名  
連絡先

# 記入例

## 緊急時情報シート

作成日： 令和 2年 9月 9日

1	氏名 (フリガナ)	平 安太郎 (タイラ ヤスタロウ)	
2	性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	
3	生年月日	昭和14年 11月 9日生	
4	住所	京都市中京区押小路通河原町西入榎木町 450	
5	現在治療中の疾患	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【疾患名】 高血圧・不整脈・前立腺肥大
6	既往疾患	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【疾患名】 脳梗塞 (平成26年・〇〇〇病院) 心筋梗塞 (平成29年・◆◆病院)
7	アレルギー	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【内容】 過去に治療を受けた主な疾患を記入してください。り患時期・医療機関が分かれば記入してください。
8	服用薬	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【内容】 別紙のお薬手帳コピーのとおり 服用している薬を記入してください。書ききれない場合は、薬手帳のコピーを添付することもできます。
9	かかりつけ医	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	病院名：△△クリニック 医師名：◇◇医師 連絡先：075-〇〇〇-〇〇〇〇
10	その他	長男 平安雄 (ヤスオ) 様 (京都市南区上鳥羽) 090-〇〇〇〇-〇〇〇〇 担当ケアマネージャー：〇〇 〇〇 (〇〇地域包括)	

現在治療中の疾患を記入してください。

過去に治療を受けた主な疾患を記入してください。り患時期・医療機関が分かれば記入してください。

【内容】 別紙のお薬手帳コピーのとおり

服用している薬を記入してください。書ききれない場合は、薬手帳のコピーを添付することもできます。

親族・キーパーソン等の情報を記入してください。

施設名 あんしんホーム  
連絡先 075-〇〇〇-〇〇〇〇

## 応急手当の習得

いざというときに心肺蘇生法やAEDの使用、止血等の応急手当を行うことができるよう、救急に関する講習を受講しましょう。京都市消防局では、定期的に応急手当講習会を開催しているほか、消防局ホームページでも情報提供を行っています。是非活用してください。

### ◇救命講習の種類

- ・普通救命講習（3時間） AEDの使用方法を含めた心肺蘇生法、気道異物除去法、止血法を学びます。
- ・上級救命講習（8時間） AEDの使用方法を含めた心肺蘇生法（成人・小児・乳児）けがの手当て、搬送法などの幅広い応急手当を学びます。

◇救急講習の案内はこちら（京都市消防局ホームページ）

<https://www.city.kyoto.lg.jp/shobo/page/0000164785.html>

### ◇お問合せ先

消防学校教育管理課 救命講習担当 075-682-0131

北消防署 075-491-4148

下京消防署 075-361-4411

上京消防署 075-431-1371

南消防署 075-681-0711

左京消防署 075-723-0119

右京消防署 075-871-0119

中京消防署 075-841-6333

西京消防署 075-392-6071

東山消防署 075-541-0191

伏見消防署 075-641-5355

山科消防署 075-592-9755

伏見消防署醍醐消防分署 075-571-0474



# 心肺蘇生法の流れ

倒れている人を発見！

安全確認

倒れている人に近寄る前に、周囲の安全確認（交通状況、落下物、暴力行為、火災及び感電などの危険がないかの確認）を行う。自分自身の安全が確保できない場合は、むやみに近付かない。

反応の確認

反応あり

・訴えを聞き、必要な応急手当を行う。

反応なし

助けを呼ぶ（119番通報とAEDの依頼）

呼吸の確認

（胸と腹部の動きで判断する）

普段どおりの呼吸をしている

・様子を見ながら救急隊を待つ  
・回復体位を考慮する

・呼吸していない又は死戦期呼吸  
・分からない又は判断に迷う

呼吸がなくなった、又は普段どおりでなくなった場合は胸骨圧迫を始める

直ちに胸骨圧迫を始める

・強く（成人：約5cm）  
（小児・乳児：胸の厚さの約3分の1）  
・速く（100～120回/分）  
・絶え間なく（中断を最小にする）

人工呼吸を行う技術と意思がある場合は、胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返す。

AED到着

電源を入れ、音声メッセージに従って操作する。

救急隊員と交代するまで続ける。

傷病者に反応がある、普段どおりの呼吸を始める又は目的のある仕草があれば、一旦心肺蘇生法を中断する。判断に迷う場合は継続する。

電気ショックは必要か

必要なし

直ちに胸骨圧迫を再開

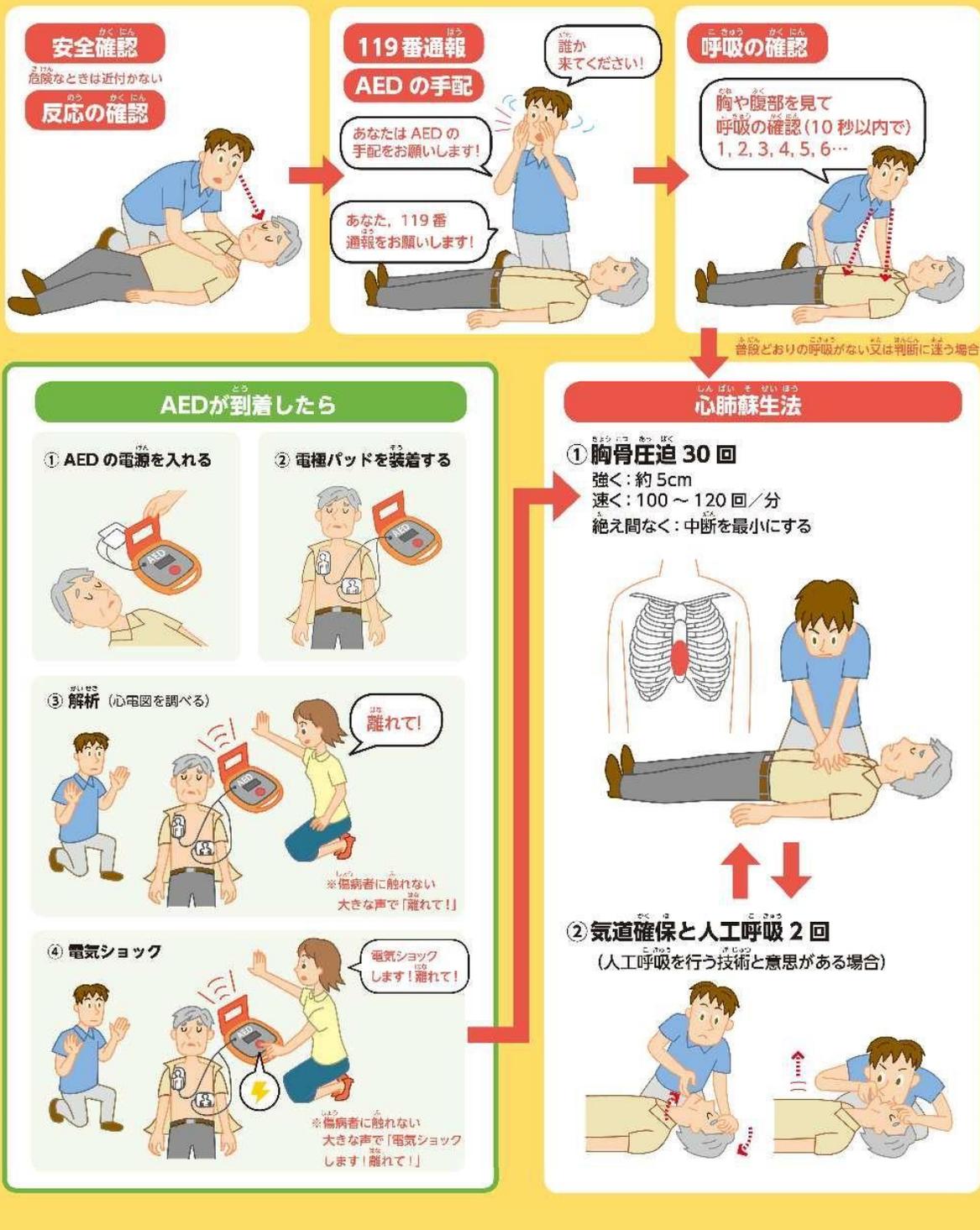
必要

2分後

2分後

電気ショックを1回実施。  
ショック実施後ただちに胸骨圧迫を再開

# ◇成人の心肺蘇生法



◇心肺蘇生法の解説 (新型コロナウイルス対応版) はこちらから  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/shobo/cmsfiles/contents/0000210/210885/korona.pdf>

※ 4 資料編 心肺蘇生法の解説(新型コロナウイルス感染症対応版)にも掲載しています。

### 3 救急要請のポイント

#### 初動のポイント（必ずしていただきたいこと）

##### ア 大声で人を集める

- ・利用者さんの異変に気付いたら、直ちに大声で助けを求めましょう。

##### イ 119番通報と応急手当

- ・手分けをして心肺蘇生法等の応急手当と119番通報をしましょう。
- ・大まかな119番通報の流れは次のとおりです。

（利用者さんが急に倒れた場合の例）

指令員「はい。119番消防です、火事ですか、救急ですか？」

あなた「救急です。」

指令員「救急車が向かう住所を教えてください。」

あなた「〇〇区〇〇町〇〇番地・・・ホームです」

指令員「わかりました。どなたがどうされましたか？」

あなた「利用者さんが食後に急に倒れたんです。」

指令員「わかりました。（この時点で救急隊に出動が指令されます）

救急隊は出動しましたので、利用者さんの様子を詳しく教えてください。利用者さんは何歳で男性女性どちらですか？」

あなた「80歳の男性です。」

指令員「わかりました。今、利用者さんは仰向けになっていますか？」

あなた「はい、床に横になっています。」

（続きます）

指令員「それでは、意識の確認をしてもらいます。大声で呼び掛け、肩を叩いてください。何か反応はありますか？」

あなた「ありません。」

指令員「次に呼吸を見ます。利用者さんの胸のあたりを見てください。

普段通りの呼吸はありますか？胸は上下に動いていますか？」

(続きます)

## ウ 応急手当を実施するうえで

- ・落ち着いて応急手当を実施してください。
- ・もし方法が分からなければ、指令員が電話越しに説明しますので、そのとおりに実施してください。
- ・119番通報と応急手当を手分けして実施できない場合は、通報をしてから応急手当を実施します。

あなた「胸が動いていません。」

指令員「それでは、心臓が停止している可能性がありますので、胸骨圧迫を実施してください。方法はご存じですか？」

あなた「ちょっと自信がないです。」

指令員「分かりました。私が説明しますので、そのとおりにしてください。

まず、電話をスピーカーフォンにできますか？」

あなた「はい。(電話機の操作)できました。」

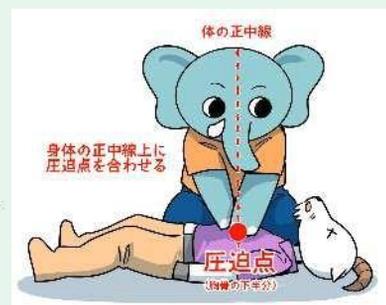
指令員「それでは、利用者さんの真横に膝立ちになってください。あなたの両手を重ねて胸の真ん中、両方の乳首の中間に当てます。

そのまま、肘を伸ばして、真上から胸が5cmくらい沈む強さで、リズムよく押します。リズムはこうです。1, 2, 3, 4, 5。」

あなた「1, 2, 3, 4, 5.....」

指令員「救急隊はもうすぐ到着します。救急隊が来るまで続けてください。」

あなた「分かりました。」



## その他の実施事項（可能であれば実施すること）

### ア 施設関係者・家族等への連絡

- ・可能であれば親族等キーパーソンとなる方への連絡を行い、搬送先医療機関に向かってもらうか、無理であれば、常に連絡が取れるように待機をしてもらってください。

### イ かかりつけ医・協力病院への連絡

- ・施設側であらかじめ搬送先医療機関を交渉・確保されている場合は、その医療機関を優先的に考慮しますが、病態や状況によっては、救急隊の判断で別の医療機関に搬送する場合があります。
- ・搬送先とならない場合でも、かかりつけ医には診療情報の提供を依頼することがありますので、可能な範囲内で連絡していただくようお願いします。

## 救急隊が到着したら

### ア 玄関への誘導員の配置、他の利用者への協力要請

- ・施設玄関に誘導員を配置してください。
- ・救急隊員はストレッチャーを搬送するためにエレベーターを使用します。救急隊員が優先して使用できるように、館内放送等を活用してアナウンスを行ってください。

### イ 緊急時情報シートの提供

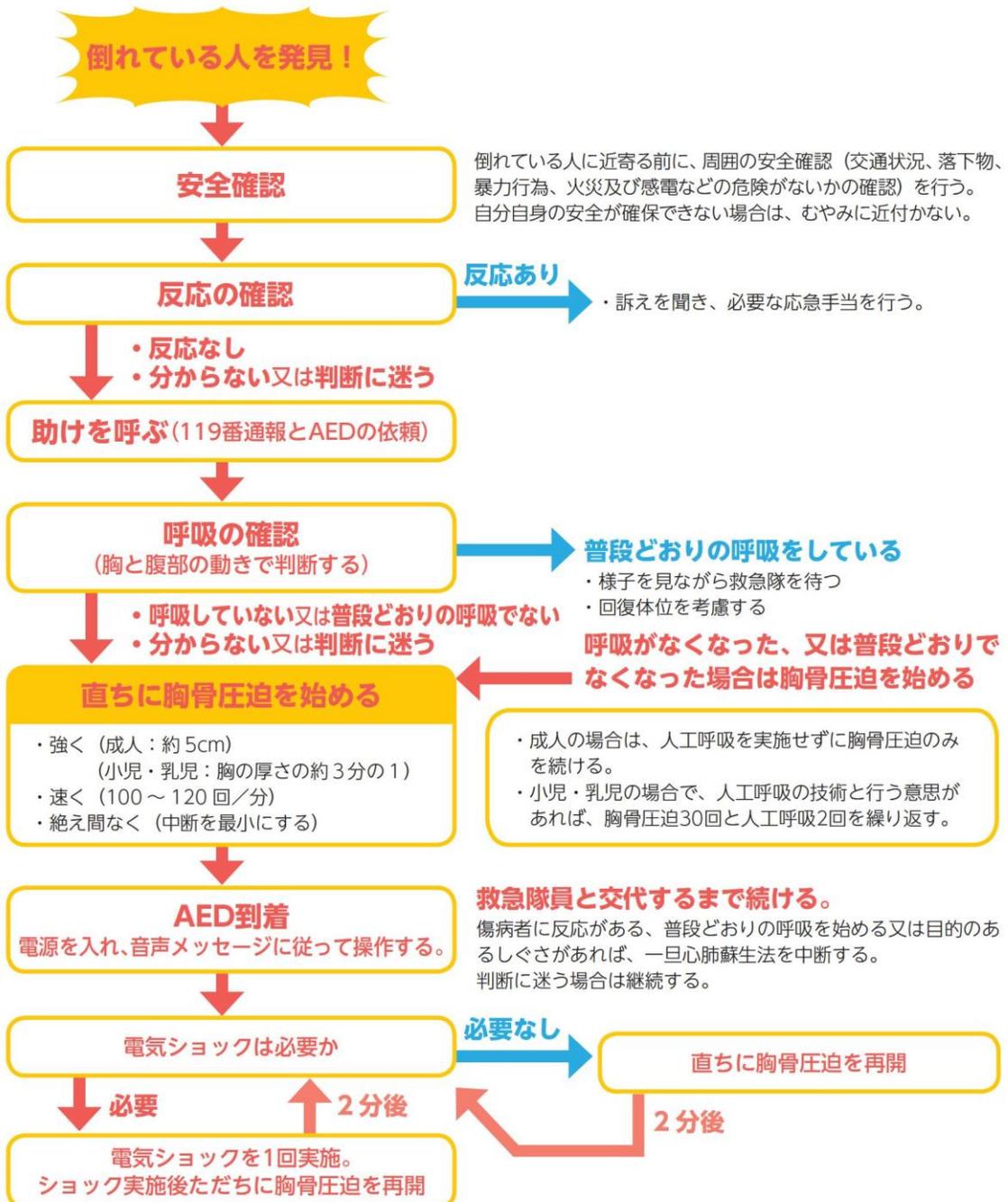
- ・事前に作成した「緊急時情報シート」を準備してください。
- ・救急隊員は情報シートを医療機関まで持参し、情報提供を行いますので、あらかじめコピーを用意しておいてください。

## 4 資料編

- ・心肺蘇生法の解説（新型コロナウイルス感染症対応版）
  - ・ためらわずに救急車を呼んでいただきたい症状（高齢者編・成人編）
  - ・救急の電話相談事業「救急安心センターきょうと（＃7119）」
  - ・全国版救急受診アプリ「Q助」
  - ・京都健康医療よろずネットのご案内
  - ・民間患者搬送事業のご案内
  - ・緊急時情報シート（様式）
- ※コピーして使用してください

# 新型コロナウイルス感染症流行期の 心肺蘇生法

## 心肺蘇生法の流れ



# ◇成人の心肺蘇生法

**安全確認**  
危険なときは近付かない

**反応の確認**

**119番通報**

**AEDの手配**

あなたはAEDの手配をお願いします!

あなた、119番通報をお願いします!

誰か来てください!

**呼吸の確認**

胸や腹部を見て呼吸の確認(10秒以内で)  
1, 2, 3, 4, 5, 6...

普段どおりの呼吸がない又は判断に迷う場合

**AEDが到着したら**

**① AEDの電源を入れる**

**② 電極パッドを装着する**

**③ 解析 (心電図を調べる)**

離れて!

※傷病者に触れない  
大きな声で「離れて!」

**④ 電気ショック**

電気ショックします! 離れて!

※傷病者に触れない  
大きな声で「電気ショックします! 離れて!」

**心肺蘇生法**

**胸骨圧迫 30回**

強く: 約 5cm  
速く: 100 ~ 120回/分  
絶え間なく: 中断を最小にする

※胸骨圧迫を開始する際に傷病者がマスクをしていない場合は、ハンカチやタオルなどの布類で口元を覆いましょう。

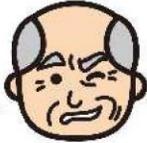
**圧迫の位置と姿勢**

# 突然のこんな症状の時にはすぐ119番!!

## 高齢者

### 顔

- 顔半分が動きにくい、しびれる
- 笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい
- 見える範囲が狭くなる
- 周りが二重に見える



### 頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 急にふらつき、立ってられない

### 胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 旅行などの後に痛み出した
- 痛む場所が移動する

### 手・足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる



### おなか

- 突然の激しい腹痛
- 血を吐く

### 意識の障害

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)

### けいれん

- けいれんが止まらない

### けが・やけど

- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど



### 吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

### 飲み込み

- 物をのどにつまらせた

### 事故

- 交通事故や転落、転倒で強い衝撃を受けた



◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合◎  
高齢者は自覚症状が出にくい場合もありますので注意しましょう。

※迷ったら「かかりつけ医」に相談しましょう!

# 重大な病気やけがの可能性ががあります！

**おとな**

**顔**

- 顔半分が動きにくい、または、しびれる
- ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくく、うまく話せない
- 見える範囲が狭くなる
- 突然、周りが二重に見える
- 顔色が明らかに悪い

**頭**

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てないくらい急にふらつく

**胸や背中**

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2～3分続く
- 痛む場所が移動する

**おなか**

- 突然の激しい腹痛
- 激しい腹痛が持続する
- 血を吐く
- 便に血が混ざる または、真っ黒い便が出る

**手・足**

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

## 意識の障害

- 意識がない（返事がない）  
またはおかしい（もうろうとしている）
- ぐったりしている



## けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない



## けが・やけど

- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど

## 吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

## 飲み込み

- 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない

## 事故

- 交通事故にあった（強い衝撃を受けた）
- 水におぼれている
- 高いところから落ちた

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

# 救急の電話相談窓口 救急安心センターきょうと（#7119）について

- 救急の電話相談窓口「救急安心センターきょうと（#7119）」とは  
「救急車を呼んだほうがいいのか?」「今すぐ病院で診てもらったほうがいいのか?」「今診てもらえる病院はどこなのか?」など、「急な病気」や「けが」で対応に迷われた場合に、24時間365日、御相談いただけるダイヤルです。  
看護師が電話で病気やけがの症状を聞き取り、緊急性や医療機関の受診、応急手当の方法などについて助言します。
- 相談対象地域  
京都府全域
- 相談可能時間  
24時間365日
- 利用方法  
携帯電話・スマートフォンやプッシュ回線（笠置町・南山城村等を除く）からは短縮ダイヤル「#7119」、ダイヤル回線・IP電話などからは「0570-00-7119」（全ての電話・京都府全域で利用可能）へ、お掛けください。いずれも相談料は不要ですが、通話料は相談者の御負担となります。

救急車を呼ぶか迷ったときは...



病院にいったほうがいいのか?

救急車を呼んだほうがいいのか?

こんなときは...

応急手当はどうしたらいいんだろう?

今すぐ見てもらえる病院はどこだろう?

こんなときは...

#

7

1

1

9

または0570-00-7119



24時間365日  
対応可能!

<救急安心センターきょうと>

医療の専門家である看護師等から相談内容の救急度に応じた適切なアドバイスを受けられます。

- 救急車を呼ぶべき
- 急いで病院受診すべき
- 応急手当の方法
- 医療機関の案内

※ただし!

以下の場合、**ためらわず119番通報**をしてください!

- ◆呼吸をしていない
- ◆脈・意識がない
- ◆大量に出血している
- ◆自身が救急だと思ったとき

かかりつけ医・在宅療養あんしん病院

- 名称
- 科目・担当医
- 電話番号

119番通報に備えてあらかじめご記入ください。

- あなたの住所
- あなたの電話番号
- 目印となる建物

緊急時の連絡先

\*救急隊から医療機関に提供する場合があります。

- 住所
- 電話番号
- 続柄

# 全国版救急受診アプリ「Q助」について

全国版救急受診アプリ



きゅーすけ



総務省消防庁「Q助」案内サイト

[https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filedList9\\_6/kyukyu\\_app.html](https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filedList9_6/kyukyu_app.html)



**症状の緊急度を素早く判定!!!**  
**救急車を呼ぶ目安に!!!**

## ご利用方法

急な病気やけがをしたとき、該当する症状を画面上で選択していくと、緊急度に応じた必要な対応（「いますぐ救急車を呼びましょう」、「できるだけ早めに医療機関を受診しましょう」、「緊急ではありませんが医療機関を受診しましょう」又は「引き続き、注意して様子をみてください」）が表示されます。

その後、119番通報、医療機関の検索（厚生労働省の「医療情報ネット」にリンク）や、受診手段の検索（一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会の「全国タクシーガイド」にリンク）を行うことができるようになっています。

全国版救急受診アプリ



きゅーすけ



**1** 緊急度の高い  
症状選択

**2** 年代選択

**3** 症状選択

該当する症状を画面上で選択します。

**4** 結果画面

緊急度に応じた必要な対応が表示されます。  
「いますぐ救急車を呼びましょう」  
「できるだけ早めに医療機関を受診しましょう」  
「緊急ではありませんが医療機関を受診しましょう」  
「引き続き、注意して様子をみてください」

## 京都健康医療よろずネットの御案内

- ・ 京都府が提供する、府民向けの救急医療情報システムです。
- ・ お住まい・お勤め先の地域や診療科目から医療機関の検索ができ、診察時間や対応可能な治療の内容、お問合せ先など医療機関の情報を提供しています。
- ・ 救急医療メニューでは、現在診療可能な救急医療機関を調べることができます。
- ・ 携帯電話・パソコン・スマートフォンからもアクセスできます。



パソコン・スマートフォン向けQRコード



## 民間患者等搬送事業者の御案内

- ・ 京都市消防局が認定している患者等搬送事業者は、定期的に訓練を受けた乗務員が、寝台車などを用いて、緊急性のない患者さんの搬送事業を行っています。
- ・ 京都市消防局が認定した患者等搬送事業者は、次のとおりです。  
サービス内容や料金等については、各事業者に直接御確認ください。

京都市内の民間患者等搬送事業者（順不同）

事業者名	所在地・電話番号
株式会社 キャビック	京都市右京区梅津段町8番地 電話：075-864-6100
株式会社 セレマ	京都市南区吉祥院三ノ宮町110番地 電話：075-682-4445
株式会社 トランスポート 京都救急患者搬送サービス	京都市山科区音羽珍事町87番地の1 電話：0120-925-119
ニチアイ介護タクシー	京都市伏見区小栗栖南後藤町84番地の2 ヴァンペール西井 電話：090-5643-9912
京都福祉観光介護タクシー はなぐるま	京都市北区大宮開町47番地の1 電話：075-491-8822
介護タクシーこゆき	京都市左京区岩倉中河原町16番地 電話：080-1437-7971
いずみ民間救急介護サービス	京都市西京区大原野上里南ノ町344番地の4 電話：075-958-1289
株式会社 すばるケアサービス	京都市西京区牛ヶ瀬堂田町48番地 電話：080-1432-9677

# 緊急時情報シート

作成日： 令和 年 月 日

1	氏名 (フリガナ)		
2	性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	
3	生年月日	年 月 日生	
4	住所		
5	現在治療中の疾患	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【疾患名】
6	既往疾患	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【疾患名】
7	アレルギー	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【内容】
8	服用薬	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【内容】
9	かかりつけ医	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	病院名： 医師名： 連絡先：
10	その他		

施設名  
連絡先

## 施設の情報

施設名

---

住 所

区

---

---

救急要請ガイドブック（高齢者施設編）  
[https://www.city.kyoto.lg.jp/shobo/cmsfiles/  
contents/0000274/274625/gaidebook.pdf](https://www.city.kyoto.lg.jp/shobo/cmsfiles/contents/0000274/274625/gaidebook.pdf)

